

平成29年度 町政懇談会 東谷地区

I. 日時・場所等

1. 開催日時 平成29年7月28日(金) 午後7時～午後8時30分
2. 開催場所 谷口公民館
3. 出席者 立山町 舟橋町長、朝倉副町長、大岩教育長、山元総務課長、
青木住民課長、村上教育課長補佐、山本水道課長、
舟橋農林課長、竹島建設課長
地元議員 伊東幸一議長
東谷地区振興会 高見政次振興会長
企画政策課 清水課長、寺崎課長補佐、林主事、佐伯主事、大前主事
4. 参加者数 28名

II. 実施内容

1. 挨拶

- ①司会 清水企画政策課長(以下、司会) 開会
- ②舟橋町長(以下、町長) 開会挨拶
- ③出席者紹介

2. 懇談会

- (1) ・立山町公共施設等マネジメント計画について 企画政策課長
・富山連携中枢都市圏について 企画政策課長
- (2) 地区からの協議事項

◎ 町の中山間地での農業・農家への取り組みについてお聞きしたい。また農家等の農道舗装、農業用水の改修補修、田んぼの法面の整備等の補助事業等があればご説明をお願いしたい。

【舟橋農林課長】

米政策では来年度から直接支払交付金制度が廃止されます。県の農業再生協議会では平成30年産以降も、米の生産過剰による過剰在庫や米価下落の発生リスクを軽減するため、全国及び県産米の需要動向を踏まえ、県段階の米の生産目標を提示していく予定となっております。提示された情報をもとにアルプス地域農業再生協議会やJAなどの生産調整方針作成者において、自らの米の生産目標を設定することになります。事実上は今年度のような流れになると思っています。また、中山間地域等直接支払い制度は、平成27年度に法制化され、制度として継続的な取組となっておりますが、来年度予算編成に向け、加算措置の拡充と予算確保のため、今月、国・県へ要望を行ったところです。また舟橋町長は、全国中山間地域振興対策協議会の会長でもあることから全国協議会からも強く要望しているところです。中山間地域の農業、農家への取り組みにつきましては、平成27年度より山村活性化支援交付金を活用し、東谷地区の特産品開発など生産者の所得向上や雇用拡大が図

られ、活性化につながるように取り組んでいます。農道舗装、農業用水の補修及び農用地法面等の補助事業につきましては、土地改良事業等で実施しますと、地元負担金が発生します。中山間地域等直接支払い制度で実施する場合だと、地元の負担も発生しませんので、集落内で検討され、農林課へ相談していただければと思っております。今月の7月12日、北陸農政局に重点要望に行って来たわけですが、その中で伊東議長から、法面のコンクリート吹き付けができないかということをお聞かしております。その後、農政局の課長から連絡がありまして、こちらの方で少し検討してみるということで、現在協議中であります。

- ◎ 鳥獣被害対策について、東谷地区は年々イノシシ、猿、カモシカ等による農産物の被害が増加し、山の農地は荒廃が進んでおります。最近水田では、カラスやサギ等の被害も多く見られます。町の方では電気柵の設置等のご尽力はいただいておりますが、当地区において何か有効な取り組み等が何かあれば一つできないか。

【舟橋農林課長】

カラス対策としては、苗の踏み荒らしや被害が予想される時期に銃器による町内一斉捕獲を今年5月20日、6月3日の2回実施しています。また今年度、四谷尾地内において、イノシシ、猿、カモシカの被害防止の耐雪型防護柵を設置し、実証実験を予定しています。この結果、効果があれば来年度以降、国へ防護柵の要望をしていきたいと考えています。

- ◎ 人口減少対策について、当地区も高齢化が進み、戸数、人口減少が進み、大きな問題となってきました。引き続き里山定住促進事業の農業女子、空き家バンクなどに積極的に取り組んでいただき、今後の中山間地区の人口減少対策について町のビジョン等があればお聞きしたい。

【清水企画政策課長】

先ほど町の人口ビジョンの説明をさせていただきましたが、立山町の全体において人口減少は非常に大きな問題と認識しております。とりわけ中山間地域、特に東谷地区におきましては、人口減少の対策、待ったなしの課題であると認識しております。町では移住定住促進事業の補助金としまして、県外から立山町へ移住される方の住宅のリフォームや、新築増築の工事をされる場合に、その費用の一部を補助しております。そして特に里山地区に移住される方には、補助金の上限額を手厚くしております。また、昨年度から自伐型林業従事者の伊藤さんご家族や、本日もいらっしゃいますけど農業女子の玉栄さん、宮内さんといったお二人が東谷地区に居住されており、地区の皆さんにお世話になりながら活動を始めておられます。本日は虫谷の川原さんもお見えですが、虫谷地区にも若い方が少しずつ居住されまして、少し明るい兆しが見えていると思っております。町では、定住コンシェルジュという移住定住の相談員を配置しており、県外から移住に関する相談を受けております。また、町のホームページの「立山暮らし」では、空き家物件情報を公開するなど、情報を発信していますが、東谷地区の空き家物件は、現在1件しかございません。今後立山町に住みたいとおっしゃる方の問い合わせがあれば、東谷地区を紹介したいと考えておりますので、東谷地区の空き家物件の情報を町へお寄せいただければ幸いです。

ます。

- ◎ 当地区も大観峯、岩室の滝、白岩川ダム公園、昆虫王国等の里山の観光施設がいろいろとあります。この自然に恵まれた東谷地区の観光地をもっと整備してほしい。施設への道路、施設整備、観光看板の設置、トイレの設備等、来場者と観光客が増えれば地域の活性化につながると思うので、よろしくお願いします。

【小野商工観光課長】

岩室の滝周辺施設の整備について、平成 28 年度に遊歩道のコンクリート割れの修繕や、景観を損ねていた笹藪の伐採、そして歩行を妨げていた木の伐採等を行いました。また、白岩川ダム公園については、周辺除草や植栽の樹木、公衆便所の管理など、年間 190 万円をかけて維持管理をさせていただいております。今年度は、コウモリの侵入防止の網の設置や老朽化したベンチの一部撤去を 6 月までに実施しました。そして、立山自然ふれあい館では、本年度、施設内の全ての空調点検を実施することとしています。各施設の老朽化は進んでおりますが、まずは来訪者の安全管理対策を最優先に考慮しまして、整備を進めたいと考えています。なお立山自然ふれあい館を中心に、昨年度、自転車で東谷地区の観光資源を周遊いただけるようサイクリングコースの設定しまして、自転車乗りのための空気入れや工具や物置を購入したり、サイクリングコースのパンフレットを作成したりして PR しております。またグリーンパーク吉峰では、大型の観光案内看板がございます。それ以外にも 3 枚の観光看板も、昨年度内容を刷新、見直しいたしました。その際に、岩室の滝を追加させていただくなど、東谷地区へ観光客の方を誘導したいと考えております。そして地域活性化につなげていきたいと考えております。

- ◎ 白岩地区は上段から下がってくるところで、冬場の朝の降雪が多い時に融雪装置が付いている。車の通る所だけ雪が溶けて、わだちのところは溶けにくく残ってしまい、降雪が多いと軽四は登りにくく、女性の方は大変苦勞されている。融雪が付いていることで除雪車が除雪できないようなことも聞いていますが、ぜひ朝降雪が多い時に、何とか除雪していただきたい。

【尾近建設課長補佐】

石坂から白岩に向かう坂道の部分には、融雪装置が付いてございますが、川水を利用した融雪装置となっております。たくさん雪が降った場合や朝晩は川水ということで融けにくい状態となることがあります。消雪があるところでは基本的には融雪装置を使つての除排雪を目指しておりますが、冷たい水であったり、凍結があったり、気温の低い降雪であった場合に、どうしても融け残りがある皆さんの冬期間交通に不自由をおかけしています。今後は、近隣で機械除雪をしている事業者の皆さんによる補完除雪も取り入れながら、皆様の安全を第一優先に、特に朝の通勤通学の時間帯、そしてお帰りになられます夕方以降の冬期の安全な交通網の確保に、建設課だけではなく他課とも連携をいたしまして、冬期間の除排雪につとめていきたいと思っております。

- ◎ 白岩川の堤防は、戦後整備してから相当な年月がたつ。二級河川で町の範囲ではないか

もしれないが、昔の工事はセメントが少なくて石ばかり詰めて、今はセメントも劣化していて、すぐ壊れる。見ていると災害のあったところだけ改修しているようだが、定期的に場所を区切ってやるような計画はないか。ダムがあるものだから泥が流れてこない。川ならふつう泥も流れてきて泥がたまるのだが、流れるばかりで底が減っている。先日の水害見ていたら底がえぐられて堤防が崩れているところが大分でありましたから、検討してもらいたい。

【竹島建設課長】

白岩川はおっしゃられた通り、県が管理している河川であります。堤防の方は古くから整備されているところがありまして、災害復旧の時は当然護岸が崩れた所を復旧するものですから現代の技術でしっかりした護岸にするんですけど、そうじゃないところについて、なんとか耐えている状況であると思います。県の予算の事情をいいますと河川への予算は厳しいと聞いております。当然壊れたところから直している状況でありまして、またここが危ないよという情報を町の方へ寄せていただければ、県の方へ伝えていきたいと思っておりますので、そういった兆候、あるいは石が崩れているとか情報があれば教えていただきたいと思っております。地域の安全安心が第一ですので、町としても取り組んでいきたいと思っております。それからダムができると土砂の供給がなくなります。元々整備した河川もどんどん掘られていくような、川の水の勢いもありますので、掘られて護岸の基礎が洗われて、それが崩れるということもございます。そういったところは当然護岸が浮いて危ないので、根をつないだりという方法もあります。河川パトロールもしているかと思いますが、なかなか水の中は見えない状況かもしれません。

◎ 昨年6月、7月、大雨豪雨の災害で四谷尾橋から20~30m右岸の方の工事が3月いっぱいまでできると言っていたのに、延びて6月いっぱいかかると聞いた。これはいつ工事に着工するのか決まっているのでしょうか。

【尾近建設課長補佐】

白岩川の右岸側の堤防の破損現場のことと存じます。こちら昨年の7月26日から27日にかけての豪雨で被災したものと、町建設課も、管理をしています立山土木事務所河川班も認識しております。町の方から地域の皆さまの早期復旧要望が出ている旨伝えておりまして、念押しをしてきたいと思っております。

まだ工事を終えていない一番の理由が、富山県は梅雨に入った状態で、先にも雨がいっぱいありまして、河川の水が多い時期でございます。基本的に河川の工事は安全な工事をしたいということもありまして、田んぼが終わった10月11月以降、川の水が減る時期を見計らって復旧工事をしたい旨、県から聞いております。

◎ 今日のテレビで、核の廃棄で全国的に廃棄処分場を探していると。富山県もその候補地に入っていて、これから選定なり打診なりが来ると思うが、東谷が一番山なので、あそこに入れておけばいいという話になってきても困る。もしそういう話が出たら、町としてはどういった対応の仕方されるのか。

【町長】

もう何年も前から全国の市町村に、経済産業大臣の名前で検討してくれないかという話
が来ています。ずっと前にどこかの町長さんが検討しようかって言った瞬間に大騒ぎにな
って、その人は辞めたということです。今は青森県に中間貯蔵してありまして、あくまで
も中間貯蔵施設ですから、それをどうするかということと、あとはフランスの方に中間処
理をお願いしていて、それが戻ってくる、それをどうするかということで、国としても
どうするかとなっておりますが、富山県だけのニュースではなくて、全国的なものです。
私は受ける勇氣はありません。それは無理だと思います。ものすごい地中深く埋めること
になっておりますけども、無いです。ただ国全体としてはどうするか、しっかり考えなけ
ればいけないと思います。

- ◎ まだ虫谷に来て日が浅いが、仲間内でいろんなこと盛り上げたりしていると、去年は年
間大体 1,500 人ほど虫谷の方に遊びに来てくれました。バスで来られる団体さんも増えて、
今年も立山中央小学校の学童さんも紙作りの工房見学ということでワークショップに來ら
れたりしたが、車を止める所が無いのが深刻な状態である。来られても路上駐車にするし
かない状態で、子ども達が危ない。3～4人、2～3台の車が来ただけでも意外と圧迫さ
れた状態になってしまうので、何かいい策があれば教えていただきたい。

【町長】

今日は住民課長がいないですけど、かねてこの会合でよく言われているのは、虫谷に町
営バスが来ないこと。答弁は転回する場所がないということと、もう一点はちょっと1回
行って帰ってこないと行けないっていうから、それだけでも何分ものロスになってしまっ
て、かなり厳しいというお答えを虫谷の歴代区長さんたちにしているところです。やらな
ければならないのは、にぎわい創出よりも生活者の方々に対してどう支援していくかとう
いうことであります。数年前と虫谷の事情が変わってきたことは間違いないし、地域
の方々の誰かの用地を提供してもらわなければいけない、つまり田んぼをつぶさないとい
けないということにもなりますので、チャンスを見て地区の方々と少し座談会でもさせて
もらえればありがたいです。

- ◎ 秋に東谷地区で運動会をやっているが、去年、いつもやっていた旧谷口小学校の体育館
が使えなくなりまして、上東中学校でやっていた。工事はどこまで終わっているか。

【村上教育課長補佐】

工事の方は既に実施しておりますので、LEDの体育館は使うことができるようになって
おります。ただ、太陽光パネルですとか蓄電池の方を埋蔵文化財センター側の方に設置
するということもやっておりますので、そちらの方が時間がかかっていますが、運動会に
は間に合うと担当から聞いております。

- ◎ 白岩からダムに上がっていく道はダムができた時に作られた道で、コンクリで作られた
壁がちょっと傾いている。農林課にもお願いしたり、立山土木事務所にも言ったが、立山
土木事務所で地図を見せてもらったら、「四谷尾用水」となっている。でもそれはダムがで
きた時作られたものだから、四谷尾用水ではない。県道が作られた横の用水ですから本当

は立山土木事務所をお願いしたい物件なんですけども、まだどこでしていただくか決まっていなかったと思うが、どうなのか。

【竹島建設課長】

立山土木事務所では確かに区長さんがおっしゃられたように、台帳上は四谷尾用水と書かれているという。過去にもそういうやり取りがあったようなんですけども、当然その道路を造ったときに、沢から下りてくる水、当然路面の水を受ける水路として造ったのではないのか。担当班長からは、底地とか造った経緯について、今調べているというところだと聞いております。

◎ 東谷地区に来られる皆さんは、山や林があるから来られており、町の方に出て行く人と全く発想が逆であり、生活の基盤が一番大事だと。東谷で収入を得る手段や場所があって、そこに住もうとする人が移住してもらえるとという大前提でアイデアを募集したら、7～8つのアイデアが出ました。町長にこれを持っていってもらい、検討していただきたい。

この頃はダムカードが出ていて、土日祭日になると白岩ダムに7～8人、夫婦とかいろんな方が主に関東地方からお出でになります。非常に穏やかでこういうところで生活したいと、ダムの見えるところで生活したいと言う人が結構おられます。それで私、中蔵の地権者2人で、見通しが悪いから自分たちの山の木は自分たちで切らんまいけど、見通しいいようにしようと。中蔵地内の芦見地内に、夏、別荘地として各地から来て何所帯も生活しています。夏場の暑いときは海まで見えるのですが、下からの見晴らしが良くないので、自分たちで一生懸命木を切って見晴らしのいいようにしていますが、限度がありますので、町から補助をいただけるものならしていただいて、見晴らしのいいところを造りたいので、検討いただきたい。

【町長】

人口減対策にもありましたけど、東京の方から立山町に住みたいって要望は、五百石地内で住みたいって言う人はおられず、中山間地みたいな景観がいいところに住みたいと、できれば畑やりたいとか、気合が入った場合は、彼女（農業女子）みたいに農業で生活してみたいって言う子もおられるのですが、とにかく物件が無いのです。空き家っていうよりも畑付き庭付きの古民家みたいなものを欲しがられる。何とか用意してもらえないでしょうか。もったいないです。話が来ても立山町に物件が無いものだから、朝日町の方に移住したりするんです。釜ヶ淵の町政懇談会で、せっかく町営住宅に5～6人の子どもさんを連れて来られた人が、物件が見当たらないって言って、結局、上滝に行かれて、人口6人分損したことがありまして、ぜひ何とかしたい。富山県出身で、総務省の過疎化の審議会の会長の早稲田大学の宮口先生と、家はあるが仏壇があるものだから、提供してくれないという話をしたら、よその県行ったら仏壇だけのマンションがあるとか、仏壇あったら壊せないとか、ばあちゃん病院に入っているからダメだとか、いろいろな話があります。何とか皆さん方、一軒でも二軒でも物件、空き家を提供してもらえないでしょうか。農業女子たちも、3年の間に定住先を探すということになっておりますので、ぜひお願いします。

◎ 人口減少対策で言えば、よそから入ってくるしか可能性は無く、住む場所が無いからって話でしたら、もう不可能なわけです。

こんな地域に下水道があって、上水道があって、けっこうあちこちに、空いたままで宅地が放置されていますが、民間の業者がここでモデルハウスやログハウスを建てて、安くできますよ、とえば、人を呼べるかなという感じです。

大観峯は1年中観光地として可能なわけです。キャンプができるのは、大観峯と白岩ダムです。東谷特有の夜空が良く見えるとか、里山の魅力を出すということにぎわうのではないかという気がします。

それと鳥獣対策について、実際どれくらいの被害があるのか。成功事例の1つがフェンスを作ることだろうが、何か別の視点から害獣対策をやっているところがあるという話を聞きます。うまく成功するなら、休耕田や放棄地が相当ありますが、活用方法が新たに増えてくるような気がするし、町長のおっしゃったおいしい米が穫れそうな気がします。

今いった農政のことや害獣のことや観光のこと含めて全部レベルを上げていかない限りは、なかなか住みよいところにならないような気がします。

【町長】

一昨日、東京へ日帰りで行って、全国観光地所在町村協議会で要望活動を行ってまいりました。その中で島根県海士町の町長さんと初めて会いました。その町は島国ですけど、奇跡の町と言われておまして、人口の20%は移住者であります。

ログハウスを建てたらどうかとのこと。私町長に就任して最初に東京の不動産会社周りをしました。移住・定住策、こんなに言われる前であります。その時は東日本大震災の前だったのでその会社は福島方面の売り込みを良くやっておられました。1時間ちょっとで新幹線で行けるからです。次に新潟の方を良く売っておられました。富山は？と言ったら富山県は物件が1つもないと言われました。遠いというイメージがあったのだと思います。新幹線もありませんでしたし。

あれから東日本大震災があったものですから、新潟方面、それから最近では富山の方でも移住定住の話が来ております。その時に社長さんに言われたのは、15年程度持つような家がいいと言われました。その人は、若者移住ではなくて、定年なって15~16年ほど住みたいって人が多いもんだから、だから空き家物件で十分だと。中途半端な家を建てると後始末に困るから、とにかく空き家物件があればいいと言われました。おっしゃるとおり今は別荘と、あとは若い人が一時的に住みたいって人が増えてきてますから、700万円~1,000万円ちょっとでログハウスどうですかっていう業者さんが売り込みにかかっておられますが、どちらかというとならぬ妙高高原の方が最近が多いのかなって思っております。

でも空き家はあるので、何部屋も子どもが住める、もしくは3世代住めるような物件を先に出して欲しいという思いはあります。不動産屋さんで平地でどうですかって物件を案内したら、そういうのは興味ないって言われました。ただログハウスつきでセットって言うのは、業者さんでおられます。それからキャンプの問題ですが、来られてもい

いのですが、私は定住者の方が先だと思っております、キャンプ地はゴミだけ捨てて、臭いだけ出して、生物を食べれば獣が来てしまうという悪循環もあるかもしれません。人がおられて、ゴミの始末までしてもらえるキャンプ場に来てもらうのが大事だと思っております。

次に、獣対策の成功事例です。全国中山間地域振興対策協議会の会長になりまして、カラス対策、イノシシ対策、どこかうまいこと成功している事例があるか聞いたら、農林省の鳥獣被害担当曰く、無いって言っています。ただ先進事例としては、被害が止まったところはありません。それは今日説明したとおり、全部、柵で覆ってしまう、そうすると獣はたくさんいるだろうけども、被害額は0になるわけです。そんな状況ですとお年寄りの人たちは、獣に囲まれているような感じでいやになって、そのまま畑やめるといって、金額ではわからない被害、心の被害が増えている。金額的被害額が減っているところはあると思いますが、獣は減らない、成功している事例はないです。福井県の若狭町には、なんと獣専門の焼却場まであって、1日30頭くらい処分している。もう埋めるところないから1日30頭燃やすのです。わが町はどうするかと聞いたら、上市町から来るかもしれんし、どこかよそから来るかもしれないので、とにかく万里の長城のように柵をめぐるす方に力を入れていきたいと思っております。町だけだったらしょうがないので、富山県全体で対策型の柵をして、これ以上来ないような対策に取り組みたいと考えておりますし、特に朝日町長と一緒に県に要望をしているところでございます。

人間を増やすのは難しいですが、ここで生活ができる、ここに来たらもうかるっていうしくみを作らないと、いつまでたっても人は増えないと思っております。農業であったり、林業であったり、誰か年収1,000~2,000万プレーヤーを出す。そうすることによって、ここに行ったら成功するというふうに移住者が増えればいいと思っております。ちなみに国の予算で今年も山村活性化支援交付金が入っておりますが、なぜこばかりかと言われると、東谷だけが旧山村振興法の指定地域になっております。つまり同じように過疎が進んでいる芦峯寺・千垣には、旧山村振興法の指定地域になってないので、農林省の補助金とかがまったく来ないので、ここに集中してお金が入るといってしくみになっております。

それからさっき工場の話がされましたけど、もしこの山手に工場が来れば、国の方で固定資産税、不動産取得税の減免措置が決められまして、平地でやるよりもかなり改善してくれていますので、大きい工場は別として、この地域に見合ったような産業か工場を誘致したいという思いもあります。

3. 閉会の挨拶

伊東幸一議長